



後奈良天皇綸旨／紙本墨書／縦 31.9×横 43.0 cm／室町時代 天文 8 年（1539）

天文 8 年（1539）10 月 7 日、後奈良天皇が、永平寺に対し、「日本曹洞第一」の出世道場であることを認めた綸旨である。これによれば、文明 5 年（1473）の火災によって、応安 5 年（1372）に後円融天皇から下賜された綸旨が紛失したため、改めて永平寺は朝廷に綸旨の発給を願い出たようである。当時の永平寺住持は 17 世以貫（1471～？）である。